

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 11 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1・6	開設時、ホームの前での交通事故に万全の注意の要望があり、玄関に鍵を掛けることで、近隣の方々が納得されていた。それに甘んじて、玄関の鍵掛けが、拘束と理解していたが、当たり前の様に玄関に鍵を掛けていました。	①玄関を時間で開鍵し、抑圧感が、全くない生活の場としての暮らしに近づけていく。	①身体拘束についての勉強会を繰り返し行なっていく。 ②運営推進会議に参加の区長、組長さんに認知症についてと利用者様の状況等をその都度伝え、入居者様への理解を求めていく。	12ヶ月
2	3・33	重度化や終末期の対応に対して、職員、協力医・主治医の連携又家族の理解・協力等が必要である。	①支援に必要な知識や技術を身につける。 ②協力医・主治医と連携し、支援体制の強化に努める。 ③家族協力が得られるような環境を日頃から作っていく。	①終末ケアについての勉強会を繰り返し行なっていく。 ②協力医・主治医、家族等の連携作り。 ③家族会発足と同時に終末ケアについて、家族会の全員の取り組み課題とする。	12ヶ月
3	3・35	地域の方々に対して、災害に備えての協力体制作りを微力ながら行なっていることの発信が出来ていない。	①防災や非常時における地域の協力体制を整える。	①定期的な消防訓練時に近隣の方々への参加の声掛けを行なう。 ②当ホームが非常時の避難所の役割が出来る発信を行なう。(食品、医療品等の備蓄)又、リスト作成して、近隣に掲示板等を使い発信する。⇒掲示板を製作予定	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。